

在セネガル日本国大使館月報

2023年9月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 9日、サル大統領は、2024年2月に実施される大統領選挙での与党連合BBYの候補にアマドゥ・バ首相を指名した。(11日 Le Soleil)
- 21日、サル大統領は、RFIとFrance24のインタビューにおいて、ニジェール情勢、次期大統領選の候補、野党PASTEF問題、次期国連事務総長就任への関心等について語った。(22日 Le Soleil)

(外政)

- 21日、サル大統領は国連総会一般討論演説において、現在の多国間システムの問題点を指摘し、安保理を現在の世界の事態に合った形に改革する必要性を訴えた。(22日 Le Soleil)

(経済)

- 7日、IMFのGemayel調査団長は、セネガルのGDPに関し、3月と6月に発生した暴動と社会騒擾により2023年の成長率が当初見通しの5.3%から4.1%になり、2024年は8.8%に達するとの見方を示した。(8日 Walf Quotidien)

カーボベルデ

- 7日、在カーボベルデ日本大使館は、2022年度対カーボベルデ無償資金協力「食糧援助」で供与された小麦粉約620トンの引渡式を実施した。(7日 opais)
- 11日、ネーヴェシュ大統領はキューバのディアス・カネル大統領と電話会談を行い、保健分野での協力可能性について協議した。また、15-16日にハバナで開催されるG77プラス中国首脳会合への招待を受けた。(12日 asemana)

ガンビア

- タンガラ外務大臣は、キューバで開催されたG77プラス中国首脳会合に参加し、グローバル・サウスの結束に向けた連帯強化を呼びかけた。(18日 The Point)

ギニアビサウ

- エンバロ大統領は、France24のインタビューにおいてニジェールのクーデタを非難し、ECOWASによる同国への軍事介入はまだ俎上に乗っているとの認識を示した。(17日 France24)
- 24日、ギニアビサウ独立50周年を迎え、エンバロ大統領は国民向けのメッセージを発出した。コスタ・ポルトガル首相、ネーヴェシュ・カーボベルデ大統領は祝辞を送った。(24日 noticiasaomunuto, anacao)
- 26日、エンバロ大統領は、次期大統領選挙を2025年11月24日に実施することを公表し、自身の二選目の出馬を表明した。(26日 O Democrata)

・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 9日、サル大統領は、2024年2月に実施される大統領選挙での与党連合BBYの候補にアマドゥ・バ首相を指名した。(11日 Le Soleil)
- 21日、サル大統領は、RFIとFrance24のインタビューにおいて、ニジェール情勢、次期大統領選の候補、野党PASTEF問題、次期国連事務総長就任への関心等について語った。(22日 Le Soleil)
- 25日、モハメッド誕生日を控え、サル大統領、バ首相、ジョム内務大臣らは、ムリッド教団の総カリフを訪問した。サル大統領は任期中最後の訪問となるため、挨拶を行い、次期大統領選でのバ首相への支援を要請した。(26日 Sud Quotidien)
- 内務省選挙総局は、2024年2月25日に実施される大統領選挙に出馬する際の必須要件となる後援者収集票に関する説明会を実施し、その配布を29日より開始することを公表した。(27日 APS)
- 29日、内務省は、野党PASTEFのソコ党首の後援者収集票の発給を却下した。(30日 Sud Quotidien)

(外政)

二国間・多国間関係

- 5日、サル大統領は、ケニアのルト大統領の招待によりナイロビで開催されたアフリカ気候サミットに参加し、開発と環境に関する共通ビジョンの策定に参加した。マージンでパン・ギムン前国連事務総長と会談した。(5日 大統領府 X、6日 Le Soleil)
- 12日、サル大統領はガンビアのバー観光・文化大臣を迎え、両国間関係の強化に関するバロウ・ガンビア大統領の伝言を受け取った。(12日 サル大統領 X)
- 12日、タル外務大臣は、レイノール駐セネガル米国大使を迎え、サヘル地域を中心とする国際問題について意見交換した。(12日 外務省 X)
- 20日、第78回国連総会のマージンで開催されるSDGs資金動員首脳会合でサル大統領が共同議長を務めた。(20日 大統領府 X)
- 20日、サル大統領はニューヨークにてインティファノ FIFA 会長と会談し、FIFA とセネガルとの協力促進について議論した。21日、グテーレス国連事務総長、イスラム開発銀行のスライマン総裁と会談した。(20日 APS、22日 大統領府 X)
- 20日、タル外務大臣は、ブリンケン米国务長官の主導で開催された将来の大西洋に関する大臣会合に出席し、海洋安全保障について議論した。(20日 外務省 X)
- 21日、サル大統領は国連総会一般討論演説において、現在の多国間システムの問題点を指摘し、安保理を現在の世界の実態に合った形に改革する必要性を訴えた。(22日 Le Soleil)

国際情勢・国連機関支援等

- 15日、イスラム融資アフリカ研究所は、サル大統領に対し、アフリカにおいてイスラム融資の発展に尽力したとしてイスラム融資リーダーの世界賞を授与した。(15日 APS)

(経済)

経済一般

- 6日、西アフリカ諸国中央銀行(BCEAO)は、金融政策委員会合を開催し、現行の政策金利を3%か

ら0.25%上げ、3.25%にすることを決定した。(7日 Le Soleil)

- 7日、IMFの Gemayel 調査団長は、セネガルのGDPに関し、3月と6月に発生した暴動と社会騒擾により2023年の成長率が当初見通しの5.3%から4.1%になり、2024年は8.8%に達するとの見方を示した。(8日 Walf Quotidien)
- 20日、西アフリカ開発銀行の理事会は、セネガル向けに500億 FCFA(約100億円)の融資を行うことを決定した。150億 FCFA は太陽光発電の建設、350億 FCFA はジャムニャジョとブレース・ジャンユ国際空港結ぶ郊外高速鉄道の建設に充てられる。(22日 Le Soleil)

(社会)

- 4日、第129回マガルに際して、セネガル各地から信徒らがムリッド教団発祥の地であり聖地のトゥーバ市を訪問し、大モスクを巡礼した。ンバケ・ムリッド教団総カリフは、スピーチで社会問題に言及し非暴力と平和を訴えかけた。(4日 APS、6日 Sud Quotidien)

(文化・スポーツ)

- 9日、ンジャイ・セネガルオリンピック委員会会長はフランシスコ・ローマ教皇を表敬訪問し、ダカールユースオリンピック2026について意見交換した。(14日 Walf Quotidien)

カーボベルデ

- 8月30日ー9月1日、プライア市にて第4回小島嶼開発途上国国際会議地域間準備会合が開催され、コレイア・エ・シルヴァ首相が開会挨拶を行った。(1日 外務省声明)
- 5日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、デジタル・サミット2023に出席するため、エストニアを訪問した。(6日 anacao)
- 7日、在カーボベルデ日本大使館は、2022年度対カーボベルデ無償資金協力「食糧援助」で供与された小麦粉約620トンの引渡式を実施した。(7日 opais)
- 11日、ネーヴェシュ大統領はキューバのディアス・カネル大統領と電話会談を行い、保健分野での協力可能性について協議した。また、15ー16日にハバナで開催されるG77プラス中国首脳会合への招待を受けた。(12日 asemana)
- 12ー15日に韓国・釜山で開催される第7回韓国・アフリカ経済協力フォーラム(KOAFEC)閣僚級会合にガルシア・コレイア副首相が出席することが公表された。(12日 opais)
- 政府は、10月12ー13日に第8回ECOWAS持続可能エネルギーフォーラムをカーボベルデにて開催することを発表した。(13日 balai CV)
- 経済調査機関のStartupBlinkは、グローバル・スタートアップ指標を公開し、カーボベルデはアフリカ諸国で7番目に起業環境がよい国に位置づけられた。(14日 opais)
- コレイア・エ・シルヴァ首相はメディアインタビューにて、国際刑事裁判所により逮捕状が出されているプーチン大統領がカーボベルデに来訪する理由はないとの見解を示し、カーボベルデは国際刑事裁判所の締約国であるとの発言を行った。(17日 balai CV)
- 17ー23日、第78回国連総会に出席するためNYを訪問中のコレイア・エ・シルヴァ首相は、SDGsハイレベルフォーラム、EU主催国際金融アーキテクチャー及び債務に関するラウンドテーブル、バイデン大統領主催レセプション、オランダ主催SIDsに関するワーキングランチ、SIDsハイレベル会合等に出席した。一般討論演説ではアフリカで相次ぐクーデタ、ロシアによるウクライナ侵攻を非難し、多元的脆

弱性指数の前進を要求し、SDGs達成に向けた国際金融構造の改革を主張した。

- 22日、カーボベルデTrade Invest主催でニューヨークにて開催された第5回投資フォーラムにおいて、コレイア・エ・シルヴァ首相は、同国の魅力について説明した。(22日 balai CV)
- コレイア・エ・シルヴァ首相は、米国にてマイクロソフト社とデジタル経済の促進に関する事業合意書に署名した。(22日 mindelinsite)
- フレイレ家族・社会開発大臣は、産業統計セミナーにおいて、カーボベルデ人の80%は何らかの社会保障サービスにアクセスできているとし、サービスの拡大プロセスが順調に進行していることを強調した。(25日 balai CV)
- 29日、韓国のバン産業大臣は、ユン大統領の特使としてカーボベルデを訪問し、カーボベルデ政府関係者や民間企業と会談した。そこで釜山で開催された韓国・アフリカ経済協力フォーラムでの成果を確認した。(29日 balai CV)

ガンビア

- 1日、国民議会はガンビア市民社会機構と、両者の隔たりを解消することを目的に対話フォーラムを開催し、国内問題について意見交換を行った。(6日 The Point)
- スイスのシンクタンク・治安セクターガバナンス・ジュネーブセンターは、ガンビア警察と入管職員の能力強化を目的に、情報収集訓練を実施した。(11日 The Point)
- 8日、バロウ大統領は若者の技能開発と就労環境の改善を目的に、若年サービス強化計画を実施することを公表した。(11日 The Point)
- タンガラ外務大臣は、キューバで開催されたG77プラス中国首脳会合に参加し、グローバル・サウスの結束に向けた連帯強化を呼びかけた。(18日 The Point)
- ジョブ石油・エネルギー大臣は、国内の燃料価格を維持すべく、8月に1億ダラン(約2.4億円)の補助金を支出したことを公表した。(22日 The Point)

ギニアビサウ

- 8日、マルティンス首相は、14年間実施されていない国勢調査を2024年に実施する方向で準備していることを公表した。(12日 balai CV)
- 12日、マルティンス首相は、ECOWASにより提供される安定化資金900万ユーロの引渡式において、この資金を有効活用し、国民の生活水準を改善する旨発言した。(12日 balai CV)
- 13日、セイディ経済・財務大臣は、国の債務が9,000億FCFA(国内総生産の約82%)に達しており、複雑な状況にあるとの認識を示した。(13日 O Democrata)
- エンバロ大統領は、France24のインタビューにおいてニジェールのクーデタを非難し、ECOWASによる同国への軍事介入はまだ俎上に乗っているとの認識を示した。(17日 France24)
- 13日、ペレイラ外務大臣は、ECOWAS委員会副議長と面会し、ECOWASにより提供される安定化資金事業について協議した。(13日 外務省Facebook)
- 21日、エンバロ大統領は、国連一般討論演説において安保理がAUの立場を反映したものになるよう改革する必要性を訴えた。(21日 DW)
- エンバロ大統領は、国連総会のマージンでバイデン米国大統領、ユン韓国大統領と面会した。(21日

大統領府Facebook)

- 24日、ギニアビサウ独立50周年を迎え、エンバロ大統領は国民向けのメッセージを発出した。コスタ・ポルトガル首相、ネーヴェシュ・カーボベルデ大統領は祝辞を送った。(24日 noticiasaomunuto、anacao)
- 26日、エンバロ大統領は、次期大統領選挙を2025年11月24日に実施することを公表し、自身の二選目の出馬を表明した。(26日 O Democrata)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。

(了)